

平成30年度

# 教育計画



石垣市立適応指導教室

『あやぱに学級』

所在地：石垣市字登野城153番地（登野城公民館2階）

TEL&FAX: (0980) 83-6388

E-mail : [ayapani@ishigaki.ed.jp](mailto:ayapani@ishigaki.ed.jp)

# も く じ

## I 概要

1	沿革	1
2	趣旨	4
3	開級目的	4
4	入級対象	4
5	場所	4
6	指導者	4
7	開級期間	4
8	支援の特質	4
9	組織	5
10	運営方針	5
11	入級の手順と原籍校適応へのプロセス	6

## II 「あやばに学級」の経営

1	学級経営目標	7
2	めざす子ども像	7
3	経営方針	7
4	支援の基本的態度及び留意点	7
5	支援の方針	8
6	支援の分類	8
7	支援の内容	9
8	主な活動内容(例)	10
9	原籍校・家庭・適応指導教室の役割と連携	11
10	日課表	12
11	教室経営	13
12	職員の構成	13
13	学級事務・事務分掌	13
14	学校復帰をめざす段階的支援のめやす	15
15	「ことばの日」実施計画	16
16	年間計画	17

## 資料

☆教育相談申請書類(様式1～様式3)

☆不登校児童生徒の評価について

# I. 概要

## 1 沿革

### 【平成5年度】

平成 6年2月 4日 石垣市立適応指導教室設置規則制定  
平成 6年2月 28日 第1回適応指導教室運営協力委員会  
平成 6年3月 8日 第2回適応指導教室運営委員会  
平成 6年3月 29日 第3回適応指導教室運営委員会  
「あやばに学級」と命名（命名者 石垣第二中 新田健夫 教諭）

### 【平成6年度】

平成 6年4月 1日 石垣市立適応指導教室「あやばに学級」開設  
適応指導教室特別研究員 慶田盛邦子教諭 発令  
適応指導教室指導員 内原勇 崎山光子 委嘱

### 【平成7年度】

平成 7年4月 1日 適応指導教室特別研究員 慶田盛邦子教諭 継続  
適応指導教室指導員 内原勇 崎山光子 委嘱

### 【平成8年度】

平成 8年4月 1日 適応指導教室特別研究員 慶田盛邦子教諭 継続  
適応指導教室指導員 前津栄信 崎山光子 委嘱

### 【平成9年度】

平成 9年4月 1日 適応指導教室特別研究員 太田綾子教諭 発令  
適応指導教室指導員 前津栄信 崎山光子 委嘱

### 【平成10年度】

平成10年4月 1日 適応指導教室特別研究員 大田綾子教諭 継続  
適応指導教室指導員 宮良祐成 島袋亮子 委嘱  
平成11年2月 23日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

### 【平成11年度】

平成11年4月 1日 適応指導教室特別研究員 安次嶺絹枝教諭 発令  
適応指導教室指導員 島袋亮子 黒川庶 委嘱  
平成11年9月 1日 適応指導教室指導員 大仲國夫 瀬名波玲子 委嘱  
平成12年2月 23日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

### 【平成12年度】

平成12年4月 1日 適応指導教室特別研究員 加勢本京子教諭 発令  
適応指導教室指導員 大仲國夫 加原玲子 委嘱  
平成13年3月 6日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

### 【平成13年度】

平成13年4月 1日 適応指導教室特別研究員 宇根悦子教諭 発令  
適応指導教室指導員 本仲勉 加原玲子 委嘱  
平成14年2月 22日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

### 【平成14年度】

平成14年4月 1日 適応指導教室特別研究員 宇根悦子教諭 継続  
適応指導教室指導員 本仲勉 盛山明香 委嘱  
平成15年2月 19日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

- 【平成15年度】  
平成15年4月 1日 適応指導教室特別研究員 西銘初江教諭 発令  
適応指導教室指導員 玻座真武 盛山明香 委嘱  
平成16年2月18日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会
- 【平成16年度】  
平成16年4月 1日 適応指導教室特別研究員 西銘初江教諭 継続  
適応指導教室指導員 砂川忠寛 與那國貴子 委嘱  
平成17年2月23日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会
- 【平成17年度】  
平成17年4月 1日 適応指導教室特別研究員 西銘初江教諭 継続  
適応指導教室指導員 屋良律子 新崎尚武 委嘱  
平成18年2月22日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会
- 【平成18年度】  
平成18年4月 1日 適応指導教室特別研究員 徳山明美教諭 発令  
適応指導教室指導員 屋良律子 米城奏 委嘱  
平成19年2月27日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会
- 【平成19年度】  
平成19年4月 1日 適応指導教室特別研究員 徳山明美教諭 継続  
適応指導教室指導員 屋良律子 相原慎太郎 委嘱  
平成20年2月27日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会及び講演会  
講師 上級カウンセラー 新里恒彦
- 【平成20年度】  
平成20年4月 1日 適応指導教室特別研究員 平安山誠教諭 発令  
適応指導教室指導員 屋良 律子 相原慎太郎委嘱  
平成21年2月27日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会及び講演会  
【講演】不登校等問題を抱える児童生徒を如何に立ち直らせるか  
講師 岸田カウンセリング研究所 所長 岸田博
- 【平成21年度】  
平成21年5月22日 適応指導教室特別研究員 平安山誠教諭 継続  
適応指導教室指導員 屋良律子 相原慎太郎 委嘱  
平成22年2月25日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会及び講演会  
【講演】「子どもと大人のためのストレスマネジメント」  
講師 関西福祉科学大学 教授 大野太郎
- 【平成22年度】  
平成22年4月 1日 適応指導教室特別研究員 保里京子教諭 発令  
適応指導教室指導員 屋良律子 崎田尚孝 委嘱  
平成23年2月25日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会
- 【平成23年度】  
平成23年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 新城寅生（委嘱） 発令  
適応指導教室特別研究員 保里京子教諭 継続  
適応指導教室指導員 大盛陽一郎 宮良郁恵 委嘱  
平成24年2月16日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会
- 【平成24年度】  
平成24年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 新城寅生（委嘱） 継続  
適応指導教室特別研究員 新本真理子教諭 発令  
適応指導教室指導員 宮城ひとみ 新崎拳 委嘱  
平成25年2月16日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成25年度】

平成25年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 田本由美子（委嘱） 発令  
適応指導教室特別研究員 兼松良明教諭 発令  
適応指導教室指導員 前花雄介 竹内梢 委嘱  
平成26年2月25日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成26年度】

平成26年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 田本由美子（委嘱） 継続  
適応指導教室特別研究員 大城亜美教諭 発令  
適応指導教室指導員 前花雄介 竹内梢 委嘱  
平成27年2月10日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成27年度】

平成27年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 宜野座安夫（委嘱） 発令  
適応指導教室特別研究員 上原邦夫教諭 発令  
適応指導教室指導員 保里京子 西里洋樹 委嘱  
平成28年2月18日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成28年度】

平成28年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 宜野座安夫（委嘱） 発令  
適応指導教室特別研究員 與那國充子 発令  
適応指導教室指導員 寄合洋且 池田碧 委嘱  
平成29年2月16日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会並びに  
適応指導関係者報告会  
(担任)照屋寛文 (小中アシスト相談員)田福雄市 (教育相談)前底さゆり

【平成29年度】

平成29年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 仲田森和（委嘱） 発令  
適応指導教室特別研究員 小野寺紀子 発令  
適応指導教室指導員 寄合洋且 松井真里子 委嘱  
7月11日 石垣市立教育研究所所長 仲田森和 退職  
8月 1日 石垣市立教育研究所所長 南 和秀（委嘱） 発令  
平成30年2月20日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会  
関係機関報告：(青少年センター係長)石垣司・(小中アシスト相談員)與那國貴子

## 2 趣 旨

石垣市の不登校児童生徒数は毎年増加傾向にあり、不登校児童生徒の学校適応を促進するため、適応指導教室「あやばに学級」を開設する。

## 3 開級目的

不登校の児童生徒に対し、自立の心を高め、社会性を身につけさせるための指導・支援を行うことで学校適応を図ることを目的とする。

## 4 入級対象

石垣市内の小中学校で不安など情緒的混乱による不登校児童生徒とし、具体的には次に示す状態がいくつか見られる者とする。

- (1) 学校に行く意志はあるが行けない。
- (2) ひきこもり傾向があり、学校生活や登校に対して過敏・拒否反応がある。
- (3) 自分の意志を表現するのが極めて乏しく、生活全般において無気力さや消極さが見られる。
- (4) 「あやばに学級」に通う意志を持っている。
- (5) 精神的な疾患がなく、怠学傾向がない。
- (6) 学校に復帰したい意志がある。

## 5 場 所

〒907-0004 石垣市字登野城153番地（登野城公民館2階）

電話(0980) 83-6388(FAX 兼用) E-mail: [ayapani@ishigaki.ed.jp](mailto:ayapani@ishigaki.ed.jp)

HP <http://ishigaki.ed.jp/ayapani/>

## 6 指 導 者

○担当教諭: (学級担任) ○適応指導員: 寄合 洋且 ・

## 7 開 級 期 間

石垣市立小・中学校の授業日に準ずるが、学年始めと終わりに3週間程度の学校適応期間をおく。

## 8 支援の特質

1	居場所づくり	○子どもをありのままに受容することによって、心を開かせ安心して活動ができる場とする。
2	生活リズムの習慣化	○保護者との連携の下に、基本的な生活(早寝、早起き、家族との食事等)の習慣化を促し、学校生活にふさわしい生活リズムを取り戻す場とする。
3	自然体験的な活動の重視	○ひきこもりがちな子ども達を、豊かな自然環境の中で人間的なふれあいを深めると共に、たくましさやチャレンジ精神を培う場とする。
4	補助的学習支援	○学校での学習から遅れがちな内容の補足と定着を行う場とする。
5	生活空間の広がりを経験する	○社会見学や施設めぐり等、通常の学校生活では得がたい貴重な体験を通し社会性を育む場とする。
6	多様な人間関係を経験する	○様々な体験や経験を通して、仲間意識や集団適応能力を高める場とする。

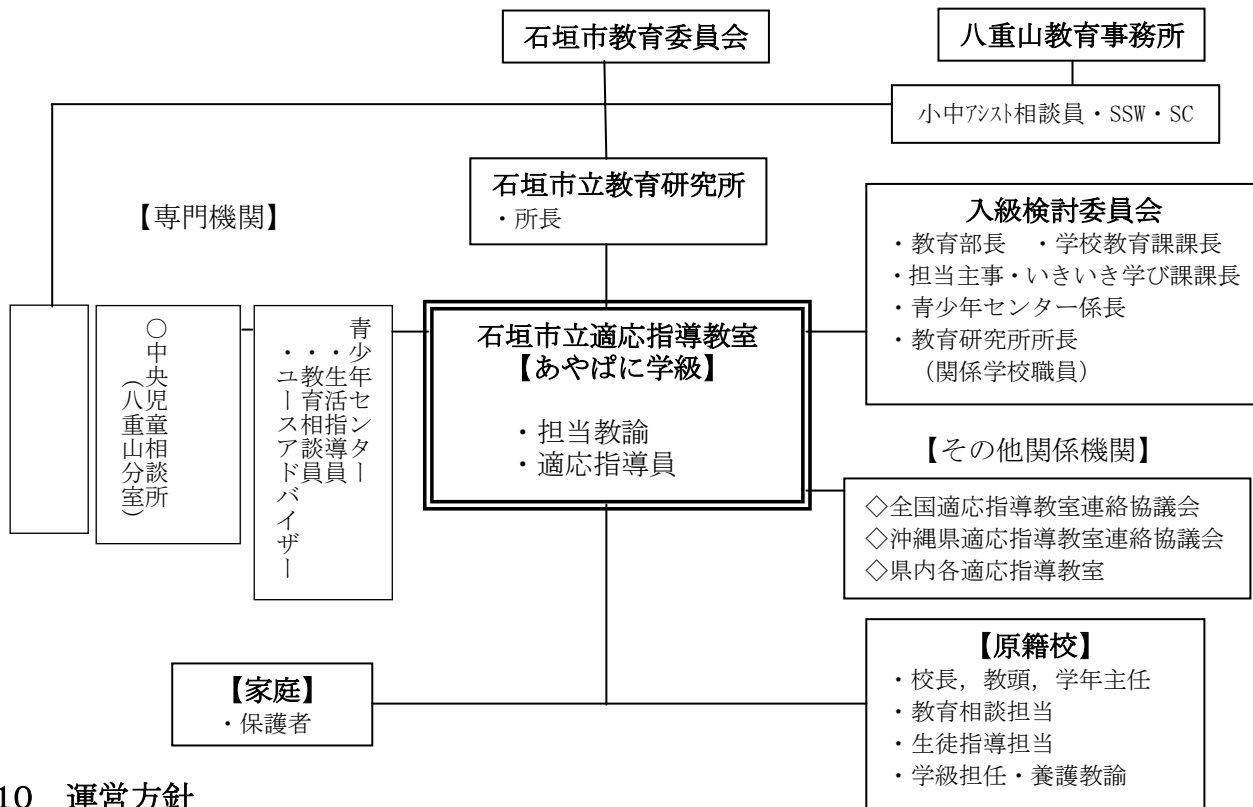
## 9 組織

(1)石垣市教育委員会、石垣市立教育研究所が主管となって本事業を推進する。

(2)適応指導教室への入級は石垣市教育委員会内に「石垣市立適応指導教室入級及び青少年センター通所等検討委員会」を組織し、適応指導教室への入級等について調査審議し、決定する。

その検討委員会は、教育部長、学校教育課及びいきいき学び課(青少年センター)、教育研究所の関係職員があたる。

(3)組織図



## 10 運営方針

(1)担当教諭と適応指導員との協同

- ①適宜話し合いを持ち、共通理解を図る。
- ②学校教育課(担当指導主事)及び教育研究所(所長)との所内研修等での共通理解を図る。

(2)学校との連携

- ①学校訪問による学校長、教育相談担当、学級担任との懇談会を通して不登校児童生徒に相応しい対応に努める。
- ②原籍校連絡会(月1回程度)を持ち、情報交換及び適応指導についての共通理解に努める。
- ③原籍校学級担任や教育相談担当、その他の教師の来級による、児童生徒との関係づくりに努める。
- ④毎月始めに原籍校へ出席状況やあやばに学級での様子を報告し、再登校時の支援方法について検討する。

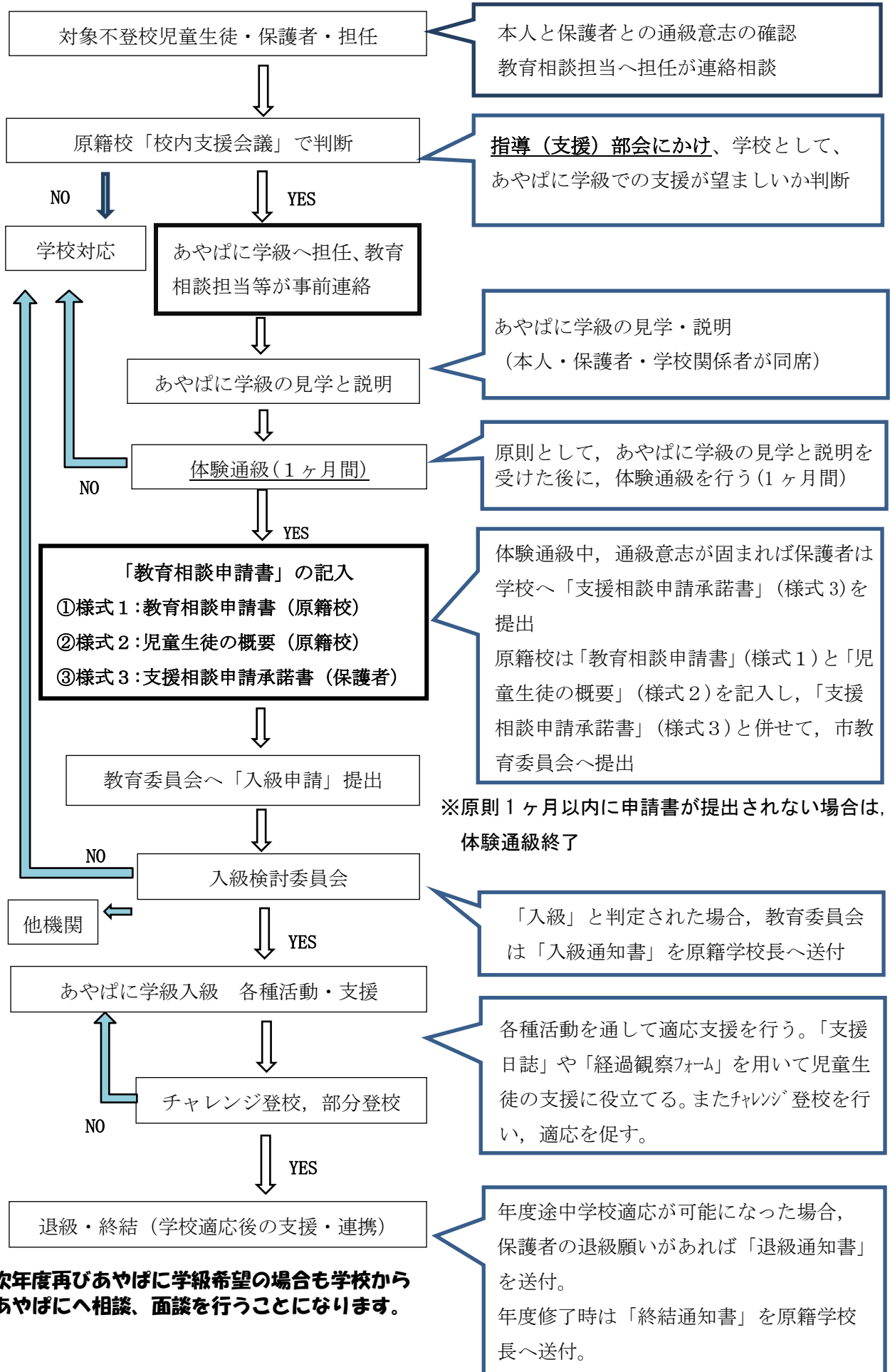
(3)家庭との連携

- ①随時電話連絡や家庭訪問をして、児童生徒の日常の支援が円滑に出来るようにする。
- ②保護者会を持ち、理解と協力を得る。
- ③関係機関への教育相談や研修会への参加を呼びかける。
- ④学級通信や電話連絡等により保護者との望ましい人間関係作りに努める。
- ⑤行事の一環として親子でふれあえる機会を設定する。

(4)その他関係機関との連携

- ①関係機関(青少年センター、児童家庭課、児童相談所、石垣市青少年健全育成関係機関連絡会議、スクールカウンセラー連絡協議会等)との連携を強化する。

# 11 入級の手順と原籍校適応へのプロセス



※次年度再びあやばに学級希望の場合も学校からあやばにへ相談、面談を行うことになります。

## II 「あやばに学級」の経営

### 1 学級経営目標

- (1)心理的要因によって不登校に陥っている児童生徒に対して、心身共に安心できる居場所や活動場所を与える。
- (2)あやばに学級での集団生活、生活改善指導、自立支援活動を通して、自立心・社会性を高め、集団への適応力を育てる。

### 2 めざす子ども像

- (1)自分の気持ちを表現できる子 ……自分の考え、気持ちを声に出そう
- (2)自分で決めて行動できる子 ……目標を決めて挑戦しよう
- (3)思いやりのある子 ……周りの人々へ思いやりや感謝の気持ちを持とう
- (4)明るく元気な子 ……生活リズムを整え明るい笑顔でいよう

### 3 経営方針

- (1)個々の児童生徒に応じて教育相談、学習指導、集団生活への適応指導など柔軟な対応をし、めざす子ども像の具現化に努める。
- (2)体験学習、作業学習、遊びなどを通して生活体験を広げ、豊かな人間関係の育成に努める。
- (3)児童生徒個々の援助指導のあり方について、原籍校関係職員や適応指導員との共通理解を図り、一貫性のある援助指導を行い効果の高まりに努める。
- (4)日常生活全般における児童生徒の実態や指導・支援の記録をとり、次の支援の手がかりにする。
- (5)学校・家庭・各関係機関等と連携を密にし、協力しながら児童生徒の学校復帰ができるよう支援体制を整える。さらに、将来の社会的自立に向けた実践活動の取り組みを行う。
- (6)児童生徒の援助指導に当たっては、次のような記録簿を作成する。

◇出席簿 ◇原籍校への出席状況報告書(毎月1回) ◇支援日誌(個人援助指導録簿)

- (7)児童生徒理解の促進、変容に応じた援助に活用する。

◇生活・活動日誌 ◇面談シート ◇プロフィール ◇観察フォーム

- (8)通級の間も原籍校の一員であるという自覚を持たせるため、原籍校の学級担任や教育相談担当等による支援をお願いする。

※詳細は「9 原籍校・家庭・適応指導教室の役割と連携」を参照

- (9)個々の児童生徒の実態把握を行い、適切な支援方法を検討する機会を持つ。

◇学校とのケース会議の実施 ◇専門家、福祉等関係機関との情報交換・連携  
◇沖適連や他市適応指導教師との情報交換・連携

### 4 支援の基本的態度及び留意点

- (1)受容と共感を持って関わり、信頼関係の確立に努める。
- (2)日常生活のふれあいを通して、共感的な人間関係に努める。
- (3)体験活動や学習面の支援のみではなく、情緒的側面の支援を重視する。
- (4)言葉づかいや行動を観察し、その意図と心情の理解に心がける。
- (5)指示・命令・批判的な態度は避けるように努める。
- (6)個々の成長を認識し、自ら考え、より良く判断・行動を促す自己決定の場を多く与える。

## 5 支援の方針

### (1) 児童生徒への対応

「常に児童生徒が主体である」「児童生徒をあるがままに受容する」「自ら気づき、自ら決定し、行動できるように支援する」等を視点にして指導にあたる。

- ①入級に際しては面接を行い、学級の趣旨・日課等を理解してもらう。
- ②受容的に関わり、職員とのラポートづくりに努め、緊張を軽減させる。
- ③支援の手だてが立てられるよう観察フォームによる実態把握や臨床心理士等の専門家による心理検査を行う。
- ④生活指導に関しては、依存型の生活から自立型の生活に改善できるように支援していく。
- ⑤学習内容は子ども自身で目標を決めさせ、子どもの実態に合わせ支援していく。
- ⑥活動を通しての感想、その他思ったことなどを日誌に書かせ、その後の支援の手だてとする

### (2) 保護者への対応

- ①保護者の立場になって、共感的に理解し、共に解決・改善策を考える。
- ②学級の趣旨を正しく理解してもらうよう、誠意を持って接する。
- ③学級での様子が正しく理解されるよう、学級便り等を通して連携を密にする。
- ④家族の関わり方について話し合う。

### (3) 原籍校への対応

- ①原籍校の学級担任が主体であり、あやばに学級は援助をする立場で臨む。
- ②児童生徒が原籍校で忘れられた存在にならないように連携を密にする。
- ③学級での様子など連携を密にし、児童生徒について学級担任との共通理解を図り、関わりの手だてとする。
- ④毎月一回出席状況を報告し、毎学期末には原籍校関係者と話し合いを持つ。
- ⑤体験入級の児童生徒については、学校復帰への手だてを密に話し合う。
- ⑥支援日誌を活用し、児童生徒に応じた支援を図る。

## 6 指導・支援の分類

### 《 活 動 例 》

- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| (1) 基本的な生活習慣への指導・支援 | … 挨拶、清掃、電話対応、生活リズム作りへの助言   |
| (2) 関係づくりの指導・支援     | … おしゃべり、カードゲーム、係活動         |
| (3) 学習の指導・支援        | … 学習プリント、定期テスト、小テスト        |
| (4) スポーツ、音楽活動の指導・支援 | … 卓球、バドミントン、キャッチボール、三線、竹笛等 |
| (5) 専門講師による指導・支援    | … 制作体験活動                   |
| (6) 調理実習の指導・支援      | … 菜園活動、身近な食材の利用、食器具の利用     |
| (7) 自然体験の指導・支援      | … 自然散策、遠足                  |
| (8) 教育相談            | … 個人面談、三者面談、家庭訪問、保護者会      |

## 7 支援の内容

### (1) 児童・生徒に対して

#### ①学級内

- ・あいさつ, 清掃, 通級等基本的な生活習慣及び学習規律に関すること。
- ・ゲーム, 音楽, スポーツ, 会話等の関係づくり。
- ・手工芸, 洋裁, 絵画, イラスト描き等, 児童生徒の興味関心に応じた内容。
- ・教科学習, 学習プリント, 進級テスト, 小テスト, 定期テスト, パソコン学習等。

#### ②学級外

- ・自然散策, 地域散策, ボランティア, デイキャンプ, 宿泊学習等の自然体験学習。
- ・高等学校見学, 交流学習, 職場体験学習等の進路指導。
- ・公共機関等の施設利用。

#### ③教育相談

- ・日誌や通級状況等による課題については随時相談を行う。
- ・個々の児童生徒の課題について継続的に相談を行う。
- ・スクールカウンセラー, 臨床心理士との面談を行う。

### (2) 保護者に対して

- ①随時電話連絡や必要に応じて家庭訪問をする。
- ②学級での様子を知らせたり, 行事への理解を深めたりするため, 三者面談や保護者会を持つ。
- ③必要に応じて来級を求め, 教育相談を行う。
- ④関係機関への教育相談や研修会への参加を呼びかける。
- ⑤支援終了後の状況の確認。

### (3) 原籍校に対して

- ①生徒の出席状況, 援助状況の報告(毎月一回)
- ②担任(教育相談等の関係職員)との学校連絡会の設定。(毎月一回程度)
- ③訪問や電話による連絡, 指導等の相談。
- ④担任から家庭へ連絡を頼んだり, あやばに学級へ訪問してもらったり等の関わりを保ってもらう。
- ⑤週報や学校便り, 学級便り, 学習課題等の書類を届けてもらう。
- ⑥支援終了後の状況の確認。

### (4) その他

- ①適応指導教室担当者連絡会での話し合い。
- ②関係機関(青少年センター, 児童家庭課, 中央児童相談所八重山分室など)との連携。
- ③小中アシスト相談員, スクールソーシャルワーカー(八重山教育事務所)との連携。
- ④主治医や臨床心理士(スクールカウンセラー等)との連携。
- ⑤特別支援教育コーディネーター(特別支援学校相談員)との連携。

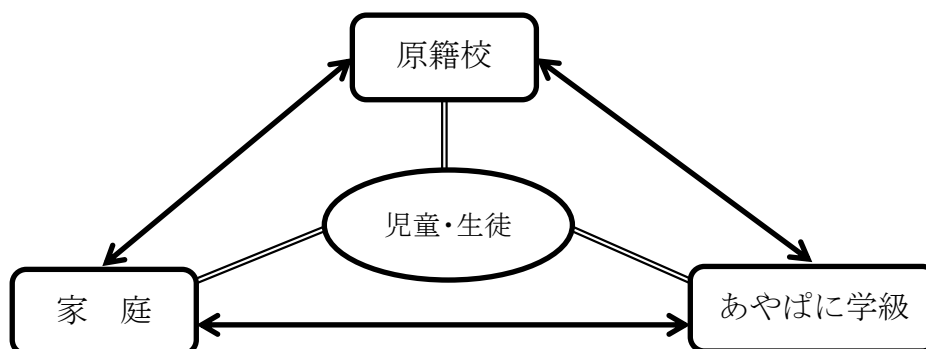
## 8 主な活動内容(例)

項目	ねらい	活動内容(例)
1 教科 学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の機会を保障し、原籍校での評価につなげる。</li> <li>・自分の力を知り、基礎的・基本的事項の定着を図る。</li> <li>・原籍校から出された課題学習に取り組ませることで、学校への所属意識を感じさせ学習意欲につなげる。</li> <li>・原籍校の先生に出前授業をしてもらい学校適応への気持ちを育む。</li> <li>・大学生や学級外の先生に教えてもらうことによって、大切にされていると感じると共に学習意欲を高める。</li> </ul>	<b>学習内容</b> 学校の課題/テスト勉強等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自学自習・指導員による学習支援</li> <li>・原籍校の先生による学習支援</li> <li>・学級外の方による学習支援</li> <li>・夏休み/冬休み勉強会</li> <li>・プレ入試 ・市立図書館活用</li> <li>・パソコンを使った学習</li> </ul>
2 生活 体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習を通して級内の仲間と一緒に協力して作業を行う楽しさや、つながりを感じさせる。</li> <li>・実習を通して食生活の見直しを行い、望ましい食育の在り方を学ばせる。※テストや学校行事のない水曜日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メニュー決め/役割分担</li> <li>・買い物</li> <li>・調理実習</li> <li>・振り返りシートの記入</li> </ul>
3 栽 培 飼 育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで植えた苗の成長を実感し、毎日、灌水等をする中で開花や結実の喜びを味わい、それを食することで命の大切さを感じとらせる。</li> <li>・教室内で観葉植物や小動物を育てることで心を癒すと共に命の大切さに気付かせる。</li> <li>・仲間と栽培活動を行うことで交流が深まり、協働する楽しさ、助け合いの心情や態度を育てる。</li> </ul>	<b>菜園活動</b> 植ええ→育苗→苗植え→灌水→暴風・害虫対策→収穫→調理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観葉植物への水やり</li> <li>・金魚とグッピーのエサやり</li> <li>・青少年の家主催の作付け→手入れ→収穫→調理に参加</li> </ul>
4 制 作 活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の想像やアイデアを形にすることで、自己を表現し、それを互いに褒め合うことで自己肯定感を高める機会とする。</li> <li>・原籍校の美術や技術/家庭科の課題を制作すること学校への所属感を得、学校に対する抵抗感を低くする。</li> <li>・仲間と共に制作することで協働する喜びを味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示物制作</li> <li>・手工芸体験</li> <li>・美術や技術/家庭科の課題制作</li> </ul>
5 自 然 体 験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に親しみ遊びを通して仲間との交流を深め自主性や連帯感を深める。</li> <li>・身近にある自然に触れゆったりとした時間を過ごす中で心の癒しと解放につなげる。</li> <li>・自然を大切にしようとする意識を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験(例:カヌー体験, 山登り)</li> <li>・遠足(例:竹富島, バンナ岳, 米原キャンプ場)</li> <li>・自然散策</li> </ul>
6 社 会 体 験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な職業や人々に触れることによって視野を広げ、社会性を広げる。</li> <li>・他人のために役立つ自分を知り、自己有用感を育てる。</li> <li>・言葉遣い等、人との接し方の学び直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験</li> <li>・進路学習</li> <li>・ことばの日</li> </ul>
7 文 化 学 習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にある文化財や施設を見学することで、郷土の歴史や文化に興味を持たせる。</li> <li>・平和について学ぶことで、命の尊さを知り平和であることがどれだけ幸せか学ぶ事ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハーリー見学</li> <li>・平和学習</li> <li>・書き初め</li> <li>・展覧会や劇等の鑑賞</li> </ul>
8 ス ポ ー ツ 体 験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の仲間や職員とのふれあいを通して交友関係を深め心身の健全な発達を図る。</li> <li>・自分のペースで体力作りを行うことができる。</li> </ul>	<b>【朝の時間やフリータイムを活用】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卓球・体ほぐし体操等</li> </ul> <b>【級外】</b> ・バドミントン等
9 宿 泊 学 習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大自然の中で過ごす事で心の開放を図る。</li> <li>・住み慣れている環境から離れ、学級の仲間たちと寝食を共にすることで、互いの良さに気づき、認め合う。</li> <li>・集団生活を通して基本的な生活習慣を整え、自律心を培う。</li> <li>・役割分担など諸活動を通して、責任感を培うと共に自己有用感を得る。</li> <li>・集団での規律の大切さを学ぶ。</li> <li>・実施後の学級生活や学習に対する意欲を高める。</li> </ul>	<b>【宿泊場所例】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石垣市青少年の家</li> <li>・竹富町立児童生徒交流センター</li> </ul> <b>【活動例】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野外炊飯</li> <li>・自然散策</li> </ul>

## 9 原籍校・家庭・適応指導教室の役割と連携

### 【原籍校の役割】

- ①不登校対応担当者を明確化し「適応指導教室」と連携協力する窓口の設定
- ②保護者との連絡・三者面談・申請書づくり
- ③学校からの文書(週報・小テスト等の課題・各お便り等)の配布
- ④原籍校担任による家庭学習の取り組み
- ⑤学習教材(教科書、副教材)及び課題(授業プリント,ドリル等)の確保と提供
- ⑥月1回程度 of 原籍校連絡会の開催(毎月1～5日の間で実施できる日)
- ⑦学級費及び教材費,給食費等の調整
- ⑧出席状況の確認,記入
- ⑨「あやばに学級」への訪問
- ⑩保健関係の諸検査の連絡・調整
- ⑪定期テストや提出物など評価に関する連絡・調整
- ⑫学校行事等に関する連絡・調整
- ⑬原籍校へチャレンジ登校する際の受け入れ体制の整備
- ⑭進路指導及び高校入試に関する資料の提供・諸手続き
- ⑮支援終了後の校内での居場所の確保・配慮



### 【家庭の役割】

- ①学校及びあやばに学級との連携・協力
- ②三者面談, 保護者会等への参加
- ③来級相談
- ④各行事への参加
- ⑤登校支援
- ⑥生活習慣の確立
- ⑦その他, 家庭として必要な役割

### 【あやばに学級の役割】

- ①保護者及び原籍校の関係職員との連携
- ②保護者及び本人との面談(実態把握)
- ③原籍校学級担当等, 入級児童生徒と関わりのあった職員との面談(実態把握)
- ④不登校に至った児童生徒の家庭環境の把握
- ⑤原籍校, 家庭及び関係機関との連携
- ⑥入級児童生徒への段階的援助指導
- ⑦入級及び終了の報告
- ⑧原籍校主催の会議等へ参加
- ⑨毎月の出席状況及び援助指導報告
- ⑩教育相談, 来級相談での対応

## 10 日課表

所要 時間 (分)	曜日		月	火	水	木	金
	時間						
30	8:30 9:00	登 級 (日誌記入・朝読書・朝自習)					
15	9:00 9:15	朝の会(健康観察, 一日の確認, 諸連絡)					
15	9:15 9:30	朝の活動 (清掃, 植物・動物の世話)					
50	9:30 10:20	学習活動①・体験活動・教育相談					
10	10:20 10:30	リラックスタイム(休憩, 準備)					
50	10:30 11:20	学習活動②・体験活動・教育相談					
10	11:20 11:30	リラックスタイム (休憩, 準備)	買い出し	リラックスタイム (休憩, 準備)			
		学習活動③・体験活動 教育相談		調理実習	学習活動③・体験活動 教育相談		
		昼食・クリーンタイム		会食 片付け	昼食・クリーンタイム		
40	13:20 14:00	フリータイム					
50	14:00 14:50	学習活動④・体験活動・教育相談					
10	14:50 15:00	日誌記入, 一日の反省					
15	15:00 15:15	帰りの会・諸連絡 退 級					

※体験学習, 宿泊学習, 職場体験等は日課通りでない場合もあります。  
 ※日課表は目安として, 月や週の活動計画や児童生徒の通級状況によって  
 適宜組み合わせて支援を行う。

## 11 教室経営

### (1)方針

- ①個別に学習や諸活動ができるためのコーナーを設ける。
- ②安心してくつろげる温かい家庭的な雰囲気づくりとして、畳間を設ける。
- ③情操教育のため CD・ビデオ・楽器等を配置する。
- ④鉢物等で緑を教室内に置き、リラックスできる雰囲気をつくる。
- ⑤詩や絵等を教室・廊下に掲示し、情操教育に役立てる。
- ⑥児童生徒の作品を掲示し、自尊心を高める。
- ⑦小動物や植物を育て、優しさや思いやりを育む。
- ⑧個人のロッカーや整理棚を設け、原籍校で活用している学習プリントやワーク、本学級で準備した学習プリント等を用いた学習が円滑に行えるようにする。

## 12 職員の構成

- |             |          |   |         |
|-------------|----------|---|---------|
| ○石垣市教育委員会   | 学校教育課長   | ： | 与世山 淳   |
| ○石垣市教育委員会   | 担当指導主事   | ： | 前泊 康史   |
| ○石垣市教育委員会   | 事務主査     | ： | 伊志嶺 あけみ |
| ◎石垣市立教育研究所  | 所長(囑託)   | ： | 南 和秀    |
| ◎石垣市立適応指導教室 | 担当教諭(担任) | ： | 平田 律子   |
| ◎石垣市立適応指導教室 | 適応指導員    | ： | 寄合 洋且 ・ |

## 13 学級事務・事務分掌

### (1)課長(石教委学校教育課) … 与世山 淳

- ①適応指導教室の統括、適応指導教室経営・運営に関すること。
- ②職員の人事に関すること。
- ③他機関との渉外に関すること。
- ④入級検討委員会に関すること。
- ⑤実践報告会に関すること。
- ⑥入級式・修了式に関すること。

### (2)所長(囑託) … 南 和秀

- ①適応指導教室の統括、適応指導教室経営・運営に関すること。
- ②職員の人事に関すること。
- ③他機関との渉外に関すること。
- ④入級検討委員会に関すること。
- ⑤実践報告会に関すること。
- ⑥入級式・修了式に関すること。
- ⑦公文書収受発送に関すること。

### (3)担当指導主事(県派遣指導主事) … 前泊 康史

- ①適応指導教室の経営・運営に係る指導助言に関すること。
- ②適応指導教室連絡協議会に関すること。(沖適連・全適連)
- ③入級検討委員会に関すること。

- ④実践報告会に関すること。
- ⑤入級式・修了式に関すること。
- ⑥公文書収受発送に関すること。

**(4)指導主事(石教委学校教育課) …… 係長 大浜 譲 担当指導主事 前泊 康史**  
○適応指導教室の指導助言に関すること。 **指導主事**

**(5)事務主査(石教委学校教育課) …… 伊志嶺 あけみ**  
○適応指導教室の予算の執行・決算に関すること。

**(6)適応指導教室担当教諭 …… 平田 律子**

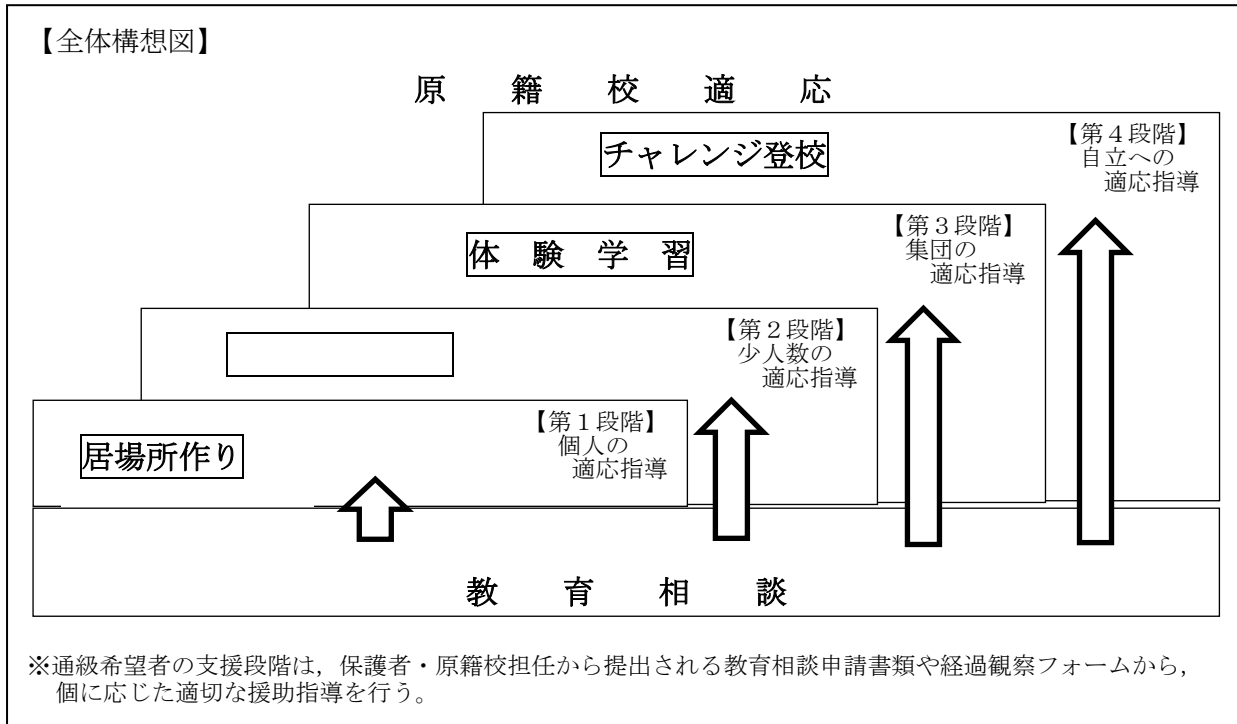
- ①適応指導教室の連携機関との渉外・企画運営に関すること。
- ②学級業務日誌に関すること。
- ③適応指導教室の学級経営計画・諸行事の企画立案に関すること。
- ④適応指導教室の学級経営・諸行事の運営に関すること。
- ⑤適応指導教室の指導・支援活動に関すること。
- ⑥学校適応促進のための家庭・学校及び学級担任との連携に関すること。
- ⑦学校訪問の企画立案及び原籍校連絡会議の運営に関すること。
- ⑧適応指導教室実践報告書の刊行及び報告会に関すること。
- ⑨入級式・修了式の企画立案に関すること。
- ⑩入級・終結通知書の作成に関すること。
- ⑪学校及び家庭訪問相談に関すること。
- ⑫教育相談(電話相談・来所相談・面談等)に関すること。
- ⑬適応指導員への指導助言に関すること。
- ⑭適応指導教室の通級児童生徒情報管理に関すること。
- ⑮不登校児童生徒の効果的な指導・支援における研究に関すること。
- ⑯県内適応指導教室担当者会への出席・連携に関すること。
- ⑰適応指導教室の予算・購入伺いに関すること。
- ⑱次年度計画等, 資料作成及び事務資料等の準備・引き継ぎに関すること。

**(7)適応指導教室適応指導員 …… 寄合 洋且 ・**

- ①適応指導教室担当教諭の補佐業務に関すること。
- ②適応指導教室の学級運営, 諸行事の運営に関すること。
- ③適応指導教室の指導・支援活動に関すること。
- ④学校適応促進のための家庭・学校及び学級担任との連携に関すること。
- ⑤学校への登校支援, 「あやばに学級」への通級支援に関すること。
- ⑥原籍校連絡会議の運営補助に関すること。
- ⑦適応指導教室実践報告書の刊行準備及び報告会の運営に関すること。
- ⑧入級式・修了式の企画立案補助に関すること。
- ⑨教育相談(電話相談・来所相談・面談等)に関すること。
- ⑩出席点検記録簿作成, 記入, 管理, 報告。

- ⑪支援日誌(個人援助指導記録簿)日誌の作成, 記入, 管理。
- ⑫児童生徒用生活・活動日誌作成, 記入, 管理。
- ⑬諸行事の記録及び反省まとめ。
- ⑭学級の教室整備及び掲示物に関すること。
- ⑮ホームページの更新に関すること。
- ⑯学級の事務資料等の整理・引き継ぎに関すること。

#### 1 4 学校適応をめざす段階的支援のめやす



段階	主な指導 (主な援助)	活動内容		援助指導の手立て ○ポイント	主な活動 (場所)
		項目	評価の視点		
第1段階	個人の 適応指導 (支える)	促されて できる活動	他人とうまく関われない。 特定の人となら会話 が出来る。	・身体症状の確認 ・居場所づくり ・通級援助 ○気持ちの開放	・朝のあいさつ ・読書活動 ・卓球, 将棋 ・教育相談 (家庭, 学級)
第2段階	少人数の 適応指導 (見守る)	自分で選ん でできる活動	自分の好きな活動 ができる。 少ない仲間と言葉 が交わせる。	・生活習慣の指導 ・少人数の活動 ・仲間との会話 ○自分ができる学習 活動の実行	・1日の計画 ・菜園活動 ・グループ活動 ・昼食指導 ・学習支援 (学級内)
第3段階	集団の 適応指導 (つなげる)	計画に従って できる活動	様々な活動に興 味を持つ。 自分のすべき事が できる。	・仲間意識の高揚 ・役割分担 ・集団での居場所作り ○学習計画作成, 学 習習慣の定着	・スポーツ活動 ・デイキャンプ ・宿泊学習 ・限定的な登校 (学級内外)
第4段階	自立への 適応指導 (学ばせる)	集団を意識し た活動	自分の考えをもち 行動できる。 意欲的, 積極的学 びへの関心が高ま る。	・将来への見通し ・登校を促す ・学校との連携 ○原籍校の日課に合 わせた学習形態	・自主学习 ・職場実習 ・高校見学 ・チャレンジ登校 (学級内外, 原籍 校)

## 15 「ことばの日」実施計画

### (1)ねらい

- ①自分の言葉遣いを振り返り、よりきれいな言葉、より気持ちのいい言葉を意識して遣い、学級内の雰囲気をよくし、社会性を培う。
- ②言葉が心に及ぼす影響を感じることによって、言葉の力を知り、日頃から良い言葉を遣おうという意識を培う。

### (2)方針

- ①「ことば」の「ば」＝「8」から、毎月8日、あるいは8日前後の日を「ことばの日」と設定する。
- ②「ことばの日」には「ことばの日」の表示をする。
- ③通級児童生徒に「ねらい」の説明をする。説明の仕方は、全体や個人など、児童生徒の状態に合わせて行う。
- ④実施内容は通級児童生徒、時期を考慮し流動的に行うものとする。

### (3)年間計画案と実施例

1	5 / 8 (火)	ことばの日について紹介	6	11 / 8 (木)	どんな心の虫
2	6 / 8 (金)	入級激励会決意を書こう	7	12 / 7 (金)	1年を振り返る
3	7 / 9 (月)	友達の良さを見つけよう	8	1 / 7 (月)	新年の決意
4	9 / 7 (金)	楽しい時はどんな時	9	2 / 8 (金)	受験生へメッセージ
5	10 / 9 (火)	気になることさよなら	10	3 / 8 (金)	修了式決意のことば